

# 町づくりの 考えは？



山本 隆一 議員

**問**

新駅の駅名に幸田こうたを入れては

**答**

名称はJ Rが決める

**問** JRとの契約などを問う。

(1) 幸田町とJRの契約書はどのようにされ、契約金額、完了年月日は。

(2) 幸田町は町内に3つ駅がありながら、ひとつも正式な「幸田」(こうた)の名前がない。今回は、47億円も投資をする①幸田相見駅 ②こうたあいみ ③北幸田あいみひとつぐらいは入れる事を検討されてはどうか。

(3) こうた駅の名を、「こうた」にするにはいくらかかるのか。

**答** **総務部長**

(1) 平成19年3月1日覚書、同年10月17日基本協定、同年12月24日工事協定。平成23年度末の開業を目指す内容となっている。契約金額は、45億8700万円となっている。



幸田駅のホーム

**窓口負担が高額になった時**

**問**

(1) 保険医療のきかない先進医療費の保険の適用は。  
(2) 安心して医療を受けら

**答** **健康福祉部長**

(1) 一般医療保険の適用ができない最新・高度な技術は、先進医療といわれている。  
この保険適用は、安全性とか費用効果など検証され、専門会議で検討されている。

(2) 先進医療による手術をした場合、入院料は保険適用となるが、残りは自己負担となる。

(3) 国保連合会や研究会議などで事例報告をしていく。

れるようにするには。

(3) 今後の高額医療費で、国・県に対していい対策はないか。

**先進医療は  
専門家が検証**



伊藤 宗次 議員

## 問 暮らしに寄り添う町政をめざせ

### 答 状況を考え検討



寄り添って

**問** 町長の施政方針は「確かな力、心のかよう、幸せなまち」をめざし、新駅に30億円注ぎ込む一方で、行革だ、近隣市町との均衡だと、理由なき公共料金3700万円値上げし、さらに、町民の収入が減ったから、税収も減ったから、国保税6000万円増税だ。

**答** 町長就任7カ月で、住民負担1億円増を押しつける。福祉大会で「暮らしを支えるとの挨拶に逆行する。」住民の暮らしに寄り添い、生活資金である財政調整基金37億円を活用し、暮らし支援の町政をめざせ。

**答** 町長 新駅の関係で、補助金、基金の取り崩しによって28億円上乗せになった。料金体系は、近隣とのバランスが非常に悪い。現状厳しい中で、公共料金を上げたというのは、残念であるがご理解願いたい。その中で、暮しを支える在宅介護手当の増額、子宮頸がんなどの予防ワクチン接種事業、保育園全てエアコン化、地域巡回バスの購入、事業仕分けなど新しい取り組みをやっていく中で、中身を精査していく。基金の使い方は、いろんな状況を考えてながら、検討していく。

を押しつけている。県下でもトップレベルの分別、減量、資源化のまち。大量焼却、連続稼働のガス溶融炉建設費負担は、人口比、持込量が原則だ。岡崎市との協議は対等、平等の原則をたたくべき。

**全くの対等は考えられない**

**答** 環境経済部長 ごみの減量化をし、適正分別をし、リサイクル社会の中で稼働していく。施策の見直しは考えていない。

**岡崎市との協議は対等・平等で**

**問** 岡崎市は、一般廃棄物(可燃ごみ)処理でガス化溶融炉を約140億円で建設した。建設費負担で町はどう対応する。町は、計画時から応分の負担意思ありを岡崎市は無視してきた。

新規稼働に向け、どういった負担をするのか協議を詰めてまいりたい。施設だけでなく、必要なものは、負担していくが、それがいくらになるかは協議していない。ごみ量割、人口割など町民の理解をいただける着地点を探していきたい。全く対等ということも考えられない。

岡崎市は、ごみ処理経費を明らかにせず、町に減量化目標とペナルティー料金



大嶽 弘 議員

# 問 里山保全の意見募集は

## 答 アンケートなどで情報収集

**問** 町内の山・川・農地・里山などの自然環境を守ってほしいという声が多い。

(1) 県の森林環境税は、どのように使われているのか。

(2) 住民意識に因應するためのような環境事業をおこなっているのか。

(3) 林道整備では、どのようなことをおこなっているのか。

(4) 環境保全をめざし、「里山保全アイデア」の一般募集はどうか。

**答** **経済環境部長**

(1) 10年計画の一あいち森とみどりづくり事業がある。大草区で里山林建全化整備、相見地区で都市緑化をおこない、木の香る学校づくりで125台の木製机を購入した。(2) 自然観察会など環境保

全の意識啓発をおこなっている。

(3) 24路線で29キロの林道があり、台風や悪天候のあとで荒れた場合、水切りや土石の除去などの処理をしている。

(4) 住民意識調査や産業まつりで、アンケートなどによる情報収集をおこなっていく。

### 児童館の拡大計画は

**問** 少子化対策の取り組みとして本町では3つの重点事業を実施している。

(1) 放課後子どもプランは、子ども権利条例は、

(2) 発育・発達相談体制の現況は、

(3) 町内の児童館（3館）

の利用状況と拡大計画は、

(5) 幸田児童館の内部補修の計画は、

(6) 中央公園管理棟を児童館として開放できないか。

### 児童クラブの充実すすめる

**答** **参事** (1) 受け入れ

枠の拡大を図っていく。

(2) 住民への周知と、社会全体で子どもを守り育てる環境づくりをすすめる。

(3) 親子教室、くれよんルーム、たんぼ相談などで発育・発達相談に取り組んでいる。

(4) 3館の利用は延べ2万8553人。児童館ではなく需要の多い児童クラブの充実をすすめる。

(5) 優先度で修繕していくため、しばらく辛抱していただきたい。

**都市計画課長**

(6) 都市公園法で児童館は該当しないため考えていない。



坂崎の里山林





大須賀 好夫 議員

## 問 予算編成の基本指針は

### 答 起債を抑え健全財政維持



桜に囲まれた幸田町役場

**問** (1) 町政史上最大規模の予算である。財政調整基金を取り崩し、償還元金を超えない起債発行を基本の財源確保は将来の健全財政運営に支障はないか。

(2) 子育て支援、社会保障福祉医療は地方負担がますます大幅増となる。心配と考える。

(3) 庁舎内に行政改革推進プロジェクトチームを立ち上げたが、内容は。

(4) 改革の一環である事業仕分けの内容と実施時期は。

(5) 新駅開業の経済効果と増収増、将来展望は。

**答** (町長) (1) 新規の企業誘致に努め、基金の蓄財も考えていく。

また、起債抑制をし、財源に留意した計画的な事業推進をする。収支を考えた健全財政に努めていく。

**健康福祉部長** (2) 子育て支援は、国の動きをみていく。各種の福祉対策は、町の実情に合ったものを考えていく。

**町長** (3) 5つの専門部会を設け行革に取り組む。

(6) 3 駅利用者が分散し、幸田駅の快速停車は確保されるか。



相見地区の街なみ

(4) 400事業の内20事業を対象とし7月23日・24日を計画。

**総務部長** (5) 3億4000万円の増収増を見込み

「エコまちづくり」をすすめる。

(6) 幸田駅の快速停車は、継続する予定。

# 問 空き家の解体に助成を

## 答 検討課題とする

**問** 空き家・空き地など放置されると、放火や自然倒壊の危険、ごみの不法投棄、白アリ等の繁殖など、衛生上の問題も懸念されてくる。

- (1) 空き家・空き地など、危険個所の実態調査を。
- (2) 通学路などに樹木が繁茂している。整備を。
- (3) 所有者としての責任を明確にするため、「空き

- 家等の適正管理に関する条例一の制定を。
- (4) 経済的な理由で解体できない人もいる。空き家の解体に、町独自の助成を。

### 郷土資料館の改築計画を

### 全体的な検討はしていきたい

**問** 平成13年12月、「文化芸術振興基本法」が成立して10年を迎える。

**答** **教育部長** (1) 近隣市町の状況をみて今後検討する。

基本法第4条・35条で、地方自治体にも文化芸術振興をすすめる責務が、第13条で、文化財の保存・活用が示されている。

- (2) 案内板は、次年度以降で対応。案内図を町のホームページに掲載していく。スロープの設置は十分検討する。
- (3) 経費節減で、白黒の自前のチラシを作成した。マップは、新たに発見された文化財を、全部調査してから作成する。

水野 千代子 議員



放置された空き家

- 消防長** (1) 火災予防条例上の観点から一度調査する。枯れ草の除去は、平成21年で対象物件41件中、未実施は4件。22年度は、14件中3件が未実施。
- 教育部長** (2) 関係課と調整し、安全な通学路を確保していく。
- 総務部長** (3) 空き家の実態調査をし、必要性の有無を判断していく。
- 都市計画課長** (4) 県下で1市が単独で空き家の除去費を助成している。近隣の実態を見て今後の、検討課題とする。

- (1) 「文化芸術振興計画」の策定を。
- (2) 文化財の拠点である郷土資料館の案内板と入口のバリアフリーを。
- (3) 季節展示を見たくなるチラシと文化財マップの作成を。
- (4) 郷土資料館の改築を望む声が多くある。計画を。

- (4) 改築や収蔵場所など全体的に検討する段階で、委員会を設けていきたい。



丸山 千代子 議員

## 問 保育園の新設でニーズに応えよ

### 答 民間の幼保一体化をすすめる

**問** 人口急増に伴い、わしだ保育園の増改築が計画されている。

30年以上経過した園舎は今の保育ニーズに対応できず、新設すべきではないか。

幸田小学校区は、子どもが利用できる施設がなく公園や児童館の要望が多い。

保育園・児童館・中高生の居場所づくりなど、子どものための施設を複合的に建設する考えを問う。

(1) 小学生以下の人口動向は。

(2) 子どもの複合施設建設で子育て支援の充実を。

**答** **【参考】** (1) 幸田小学校区では平成16年が11

20人、22年が1426人で、304人増加している。うち、鷺田区は252人増加している。

**町長** (2) わしだ保育園は形状的に使いがいい面もあるが、当面、増築していく。

中高生は遊ぶ機会が少なくと思う。児童館は3館あり満しているため、当分箱物をつくらない。民間の幼保一体化の施設はすすめていきたい。

### 特定鳥獣(イノシシ)対策を

**問** 農地などのイノシシ被害が急増し、今年度の捕獲が47頭にのぼっている。イノシシによる農林業被



捕獲されたイノシシ

害を軽減し、共生していくために特定鳥獣対策をたてる考えを問う。

(1) 捕獲状況と被害実態。

(2) 捕獲したイノシシの処理は。

(3) 猟友会の人数。

(4) 狩猟免許取得の補助と後継者づくりを。

(5) 特定鳥獣保護管理計画を策定し、イノシシ被害を防ぐ対策を。

### 現段階では考えていない

**答** **【環境経済部長】**

(1) 平成20年8頭、21年13頭、22年47頭を捕獲している。水田被害が1.4で、共済の支払い額は74万円になる。

(2) 猟友会が自家処理している。

(3) 岡崎猟友会幸田支部の会員で11人。

(4) 豊田市が3万円助成している。岡崎市は今、検討しているので参考にしていきたい。

(5) 管理区域に入っていないため、現段階では考えていない。